

○俳句二詠ンダ或ル植物

俳句ニ詠ンダ或ル植物



松野重太郎君（號輪水）

元神奈川縣立横濱第一中學校教諭（博物）

松野重太郎

【春季】●いち早き薔薇の芽ざしや庭の春
〔薔薇ノ芽ノ開舒ノ最早〕 黄に
キ事ヲ詠シタルモノ
〔黄色ノ蠟梅カ満作カ花ノ少ナイ時〕 ●陽に咲て瑠璃一と叢や犬ふぐり
季至ニ入レテ吟セタモノデアル 大犬ト群草ト群鳥
影ノ花芽●駒鳥(まこ)の巣を懸けぬ林檎の花盛り
〔林檎ノ開花中駒鳥ノ巢ヲ捨テ〕 林檎ノ爲メ林檎ノ蟲ヲ驅除メ

咲て春まだ淺し瓶の花
早春ノ花ハ大方白色カ又ハ黃色ノモノハ多イ此ノ瓶ノ花ハ
ソメイヨシノ花ノ開閉運動
ソメイヨシノ花ノ開閉運動
●玉蘭の花芽(はな)曲りぬ春日
●玉蘭の花芽(はな)曲りぬ春日
木ニカケ駒鳥ラシテ産卵セシ
木ニカケ駒鳥ラシテ産卵セシ
シムルニ事ヲ寫生シタルモノ
シムルニ事ヲ寫生シタルモノ
●たらの芽の苦み味ふ
●たらの芽の苦み味ふ

■淺し瓶の花 〔早春ノ花〕
閉運動 モノ ■玉蘭の花芽(めな) 〔曲りぬ春日ノモノ〕
生シタルモノ ■たらの芽の苦み味ふ
彌生かな味フ情ヨメルナリ 【夏季】

百合活けて湖の障子を開きけり
箱根湖畔ナドヘ旅人宿ニテ山百合ヲ活ケルナ

リ山百合ハ歐米人ノ嗜好ニ適スルモノ邦人ニ
ハ薰リ強ク到底耐へ難キモノナリ

丹の盛なり
植物 多漿質

葉先は折れてあり 葉先ノ折
レタル状 ● ポプラ

吹く風さはざはと夕立かな
ホアテノ
風ニサワ

ツセルモノ
●短夜や竹の葉先の露
○一葉縁ニ於ケル冰孔ヨリ
●星銀直の

の玉水玉ノ溢レ出ヅル状
屋根草の
紫晴る、卯月かな
八ノ屋根ノ風雅ナ
レ状保土ヶ谷附近ノ

●槐(き)の葉のむらがり燃えて

青嵐ムラムラノ葉ハ一齊ニ開舒セズ●一八(はつち)
ニ開クモノナリ

【秋季】●篠懸(すげ)の木の伸び見する殘暑かな●樹の下に淡々蘭や秋の蝶
來テ花粉ノ媒介ヲナ●姫娑羅の木肌明るく霧寒し仙石上湯邊ニテ蘆々タルニ哀レニモ蝶ガ零ネ
セル状ヲヨメルナリ●霧の走るかな箱根小涌谷附近ニテ青イ青イあすなるのひじさに
霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧
霧の走るかな霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧ノ霧
ツケトシテ焚火●無花果の種子(たね)一つづつのにほひ哉無花果ノ種子トハ果實ノ如事ナリ此果實ガブツブツシテ居ル状
冬ざる、扉かな冬季厚キ石南ノ葉ガ裏ニ返リテ扉ノ如キ状ヲナシ越冬ラバ有様●春づくに蜂靜なる八ツ手カナ惜シ氣ニ群ガリ群ガリテ去ラントモゼザル状
木枯に天狗巢病の櫻かな落葉シタル櫻ニ天狗巢病ノミガ異形ノ枝●羊齒の穗の長きがまゝ、や冬枯る、●二十三才(みえさ)根
筐は枝を分ちけり三十才ガ根筐ノ分蘖●霜風の庭に赤さ吳茱萸かな霜晴ノ時ニ藥用トナスベキ
リ雞走る油菜ハ通常十月頃モノレードモ裏作ニハ稻刈刈モナリ●葱青き畦々高き時雨かな
の長きに陽ある冬至かな飽ケ迄モ淡ク輝ケル有様ナリ●かりやすの穂梨明るく霜來たり
早クモ此山中ニハ霜ノ來レル狀

【冬季】●石南の葉の
葉を植なし冬田に陽あり
根深ノ栽培スル状●枇杷の葉

○田中芳男編輯『羊齒分科名彙』

牧野富太郎

『摘芳拾葉錄』欄デ紹介スルト前號ノ卷頭ニ於テ述べテ置イタ田中芳先生編輯ノ『羊齒分科名彙』ハ左ノ通

リノモノデアル今其欄内ノ者トセズ獨立ニ其全文ヲ此ニ掲ゲテ斯學參考ノ一助ト爲ル

羊齒分科名彙 Classification of Filices.

田中芳男編輯

羊齒類ハ多ク陰濕ノ地ニ生ズル植物ニシテ無花部ノ上

長類ニ屬ス或ハ直立シテ幹ヲナスコト炒櫻ノ如ク或ハ
蔓ヲナスコト海金沙ノ如ク或ハ一年草ニシテ水蕨ノ如
キ者ナリト雖モ皆宿根及常綠ノ草本ニシテ其根科状ヲ
ナシ倒斜シ又線状ヲナシテ匍匐セリ